



「世界農業遺産」認定をめざして キックオフ シンポジウム

～琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業を「世界農業遺産」へ～

記 録 集

日時 : 2016年9月24日(土)14:00～16:45

会場 : G-NETしが 大ホール [近江八幡市鷹飼町]



「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会」設立準備会

開催目的

本県がこれまで全国に先駆けて取り組んできた環境こだわり農業や農業用水の循環利用、魚のゆりかご水田など生きものを育む水田づくりや持続可能な琵琶湖漁業の取組、耕畜連携や森林保全活動などは、世界に誇れるものです。

こうした琵琶湖と共生する「滋賀の農林水産業」を誇りと自信を持って世界にアピールし、持続可能な取組として次世代に引き継いでいくため、県では、平成31年度の「世界農業遺産」の認定を目指しています。

参加者の皆様には、滋賀県が「世界農業遺産」を目指す意義やその活用などについて御理解いただくとともに、本県の農山漁村の魅力を感じていただき、共に「世界農業遺産」認定に向けての機運を盛り上げてまいりたいと考えております。

プログラム

14:00	開 会	
14:05	開会挨拶	滋賀県知事 三日月 大造
14:10	報告事項	「世界農業遺産認定に向けた滋賀県の取組について」 滋賀県農政水産部長 高橋 滝治郎
14:35	講演 1	「世界農業遺産を目指す意義」 国連大学 永田 明 氏
15:25	休 憩	
15:40	講演 2	「人の暮らしのなかで息づく琵琶湖の美しい自然」 写真家 今森 光彦 氏
16:45	閉会	

主催

滋賀県・「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会」設立準備会

後援

朝日新聞大津総局・京都新聞・NHK 大津放送局・産経新聞社・中日新聞社・
日本経済新聞社大津支局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局・
KBS 京都・BBC びわ湖放送・ radio・近畿農政局・
滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会

開会挨拶

滋賀県知事 三日月大造



皆さん、こんにちは。今日は、何かとお忙しいところ、『世界農業遺産』認定をめざして キックオフ シンポジウム」に御参集をいただきまして誠にありがとうございます。私も楽しみにしておりました。本日は、皆さんとともに最後まで勉強し、これからのことを一緒に考えていきたいと思っております。

大津からこちらへ参ります折りに田園風景を見渡せば、稲刈りをしていただいている方々が大勢いらっしゃいました。今日はそんな最中に会場にお越しくださった生産者の方々もたくさんおられるかと思えます。自然の恵みに、また生産者の皆様の営みに心から敬意を表し感謝を申し上げたいと思えます。

さて、知事になりましてから 2 年余りになりますが、日に日に滋賀県のことが愛おしく、また好きになっております。と言いますのも、皆様方もお感じになっていると思いますが、私達の滋賀県には、真ん中にある琵琶湖のことを想う人がたくさんいらっしゃいます。

そして、下流のことを想う人がたくさんいらっしゃいます。「この水このまま流したら下で飲まはる人がいはるしなあ。」だから農家の方は、代かきの時も田植えの時も極力濁水を流さないようにしていただいている。

また、未来の事を考える人がたくさんいらっしゃいます。「今だけ良かったらええんちゃうよな。」「やっぱり子どもや孫の時代にも、ええもん残さなあかんわな。」と、未来のことを考える人が多いのです。

そして何より、人間以外の生きもののことを考える人が多いのです。「魚の産卵場所や生育環境のことも考えて米作りしようや。農業やろうや。」また、動物が獣害を起こすのは「おそらく鹿や猪が山の中で食べ物が無くなってるんとか。だからもう一回、山を取りもどそうや。里山のように。」ということまで私に御提言くださったり、実践活動をしてくださる方が大勢いらっしゃいます。

私は、このことが滋賀の誇りだと思っておりますし、そんな琵琶湖のこと、環境のこと、未来のこと、他の生きもののことを考えながら、農業・生産活動をされることは、全国に誇るべき、また世界に誇るべきモデルになるだろうという想いを持っております。ぜひ、この琵琶湖を真ん中にした農林水産業のシ

システムを「世界農業遺産」として認定していただき、その中で作っていただくものを、より多くの方に食べていただいたり、楽しんでいただく。そんな取組を皆さんと一緒に進めたいということで、この「世界農業遺産」の認定をめざした取組を開始させていただきました。ぜひ皆様方と一緒に、私達自身がまず知って、学んで、誇りを持って、そして広めていくような活動を展開していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今日は、様々な角度から、「この『世界農業遺産』って何やろう。」「これ認定されたらどないなるんやろう。」「認定される前にはどうしたらええんやろう。」ということを考えるきっかけにしたいと思っておりますし、行政だけではなくて生産者の皆さんや、県だけではなくて市町の皆さんや、できれば食べていただく消費者の皆さん、流通に携わっている方々みんなで取り組んでいく、私はそんな取組にしたいと思っております。

去る9月15日に、この「世界農業遺産」認定に向けた協議会を創るための準備会を発足させていただいて、県内19全ての市町と農林漁業関係団体等の皆様方に御参画をいただくことができました。

平成30年度、あと2年後の認定申請に向けて本格的に取組を動かしていきたいと思っておりますので、御協力、御支援、御参画方よろしくお願いいたします。

それでは、いよいよ始まります、この「世界農業遺産」認定に向けた取組に益々のお力を賜りますことお願い申し上げます。冒頭簡単ではありますが、私からの挨拶とさせていただきます。

一緒に頑張りましょう！
ありがとうございました。

